

甲斐市立玉幡小学校 令和4年度 学校だより 第11号



チーム玉幡

令和4年11月7日 文責：小林 正彦

「秋の夜長」という言葉があります。昼と夜の長さがほぼ同じ「秋分の日」を境に、徐々に日の暮れるのが早くなってきます。最近日が暮れるのが早く感じるのは私だけでしょうか。現代は照明器具が発達し、夜でも昼と同じような生活ができます。昔の屋外は、今以上に暗く感じたと思います。そうした暮らしから「秋の夜長」という言葉が生まれたのではないのでしょうか。

この「夜長」の時間、昔は「読書」や「家族団らん」の時間となっていました。技術革新と共に、テレビやゲーム機が発達し、今ではスマホの SNS が、昔の夜長の時間を拒んでいると言えるのではないのでしょうか。いつもはできないと思いますが、一日のどこかの時間で、テレビやゲームのスイッチを切り、読書やお話しなどの時間を作ってみてはどうでしょう。



国語力向上を目指して

甲斐市で掲げている創甲斐教育の重点項目に、「国語力の向上」「言語活動の充実」があります。玉幡小学校では、モジュールの時間を使って、漢字学習に力を入れています。低学年ではていねいに書くことに気をつけて、高学年では多くの熟語まで知る時間となるように、年度始めに先生方と確認しました。学校教育では、デジタル化された教材や教具が今後も更に増えてくると思います。そんな時だからこそ、小学校の段階で、「活字」に触れる機会は大切だと考えています。今後も丁寧に取り組んでいきたいと思っています。

「言語活動の充実」では、授業の場面において、子ども達が主体的に考え、自分の考えや感想を発表する場面を多くとっています。友だちの意見を聞いて、自分の考えを深める時間も設けています。先生方は、このような授業が効果的に行えるように、お互いの授業を見合う機会を設定し、意見を交流し合い、授業力の向上に努めています。

甲斐市が行っている「国語力向上」の取組として、「やはたいぬくん こどもあいさつ運動 字をおぼえようキャンペーン」があります。字を覚えることの大切さを、市が作成した動画を通して学ぶと共に、1年生へ漢字ハンカチをプレゼントしてもらっています。今年度は、「やはたいぬくん」が玉幡小学校に来てくれました。市から




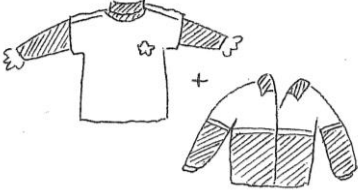

は、市長様、教育長様、教育部長様にも来ていただき、市長様からは子ども達に向けてお話をしていただきました。この取組をきっかけにして、漢字に興味を持ってくれることを願っています。

道徳授業公開中

今年度の道徳公開授業は、感染症対策のため、11月2日と9日の2日間設定させていただきました。2日にご来校いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。9日にご来校いただく保護者の皆様、よろしくお願いたします。

冬季の体育着着用についての確認

体育の授業(特に開始時)の服装は「冬の体育着の上下」とする。

	図	状態		備考
A		普通の肌着(半袖) +夏の体育着 +冬の体育着	○	本来はこれが一番望ましい。
B		普通の肌着(半袖) +夏の体育着 (=夏季と同じ)	○	暑がりな子はこれもある。
C		長袖インナーの上に 夏の体育着。 さらにその上に冬の 体育着を着ている。	○	学校の夏&冬の体育着だけでは寒い場合もあるので、これもOK。 <u>これで登校してきて、途中で暑くなったら「D」になっても許容する。</u>
D	 冬の体育着の用意がない!	長袖インナーの上に 夏の体育着。 Cとの違いは、その上 に <u>冬の体育着を着て ない、持ってきてもい ない。</u> <u>なのにジャンパーな どは着てきている。</u>	△	指導したいタイプ。 「夏の体育着だけで寒かったら、まずは冬の体育着を着るように。」 単に「動きやすい」という理由では認められない。
E		長袖インナーの上に 冬の体育着。	○	問題はない。 しかし体育着を脱いでしまうと、体育授業中の服装としてはNG。

※冬の体育着は「体育の時にファスナーを閉じる」という指導をお願いします。

※ズボンも同じように考えます。

寒ければ ①半ズボン ②長ズボン ③タイツ類 の順で重ねていく。

①~③まではいてきて、途中で暑くなり、①③になってしまっても許容する。

(単に「動きやすい」という理由で長ズボンを穿かないのは×)

③のタイツについては足のけがの際、傷の手当てがしにくいいため、足先まであるタイツははかない。